

<平成28年度 ハローオリピズム事業>

オリンピック教室

実施報告書

兵庫県神戸市立多聞東中学校





現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成28年4月～平成29年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 40校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間（50分）



2時限目
座学の時間（50分）



※学校の通常の授業時間をベースに実施

※運動の時間と座学の時間間に10分の休憩時間があります。



1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備運動（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備運動



主運動
（作戦タイム等を受け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



- 期 日 : 平成29年2月7日 (火)
- 場 所 : 神戸市立多聞東中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (38名) 、5組 (38名)
- オリンピアン : 木田 知宏 先生 (ライフル射撃)
- 授業のながれ : 運動の時間 (1時限、3時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・木田先生から簡単に自己紹介をした後、今日の授業ではオリンピックについて考えて、それを今後の皆の人生に役立ててほしいと授業の目的を確認。運動の時間では「全力で一生涯懸命に取り組むこと」、「チームやクラス全員で協力すること」、「ルールをよく聞いてフェアプレーで取り組むこと」を約束し、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・3チームに分かれて8の字跳びを全3回戦実施。途中作戦タイムを設けて回数を増やすための工夫を各チームごとに話し合う。

4. まとめ



・5組では体育館の側面の壁と後方に貼った標的を用いて、実際の距離から見た時の標的の小ささに驚きの声があがった。
 ・次の座学の時間ではオリンピックについて考えようと予告し、授業終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限、4時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・アトランタ大会の映像を用いて競技について紹介した後、近代オリンピックの復興とオリンピックバリューについて説明。
- ・木田先生が競技を始めたきっかけやオリンピックに出場するまでの経験を伝える。

3. グループワーク



- 1組：自分の目標を達成するためにオリンピックバリューをどう活かせるかを考える。
- ・一人ひとりが常に全力を尽くす、目標を持つ、練習の質を上げる、諦めずに挑戦する、後悔しないようにベストを尽くす（エクセレンス）、アドバイスし合う、声を掛け合う、失敗しても相手を責めない（フレンドシップ）、勝っても負けても相手を尊重する、フェアプレー、支えてくれる人に感謝する、相手の努力を称える、お互いにフォローし合う、挨拶をする（リスペクト）等の意見が挙げられた。
 - ・木田先生からは発表してもらったオリンピックバリューを今後の人生に活かしてほしいと伝える。

4. まとめ



- ・最後に射撃の紹介映像を見せ、2020年の東京オリンピックでは、世界中からトップの選手が一堂に会して磨き上げた技術を披露する。射撃競技を体験できる機会はたくさんあるので、興味のある人はぜひ始めてみてほしいと伝え、授業終了。



- 期 日 : 平成29年2月7日 (火) 、8日 (水)
- 場 所 : 神戸市立多聞東中学校
- ク ラ ス : 2年2組 (38名) 、3組 (37名) 、4組 (38名)
- オリンピアン : 松村 亜矢子 先生 (水泳・シンクロナイズドスイミング)
- 授業のながれ : 運動の時間 (7日 : 5時限、8日 : 3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認

2. 準備体操



・松村先生から自己紹介をした後、今日の授業ではオリンピックとは何か、シンクロナイズドスイミングとは何かを体感してほしいと授業の目的を確認し、オリンピックシンボルの意味について説明した後、「どうしたら勝てるか考えること」、「楽しむこと」を運動の時間のテーマとして伝え、準備体操と三目並べゲームを実施。

3. 主運動



・松村先生が約2分の曲に乗せたダンスを振り付けし、班ごとに披露。3つのポイント (楽しみ度4点、一体感3点、全力度3点) で松村先生たちが審査、10点満点の点数を競う。

4. まとめ



・松村先生からチーム一丸となって、どうしたらよくなるかを考えられていたことをフィードバックし、達成したい目標のために何ができるか考えることの大切さを伝える。授業の冒頭で確認した「楽しむこと」ができたかを確認し、楽しくないと思うことは継続することができないので、辛いこと、苦しいことにも楽しさを見出すことで継続することができるように話す。次の座学の時間ではオリンピックについてより深く知ろうと話し、運動の時間を終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（7日：6時限、8日：4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・松村先生が出場した2007年世界選手権でのデュエットの演技と、2008年北京大会チームの陸上動作の映像を見せながら、競技について紹介。
- ・競技生活を通して松村先生が感じたオリンピックバリューを紹介。

3. グループワーク



- ・夢や目標を達成するために必要なことをオリンピックバリューに当てはめて考える。
- ・日々コツコツ努力する、考えて練習する、全ての練習に100%の力を尽くす、自分と向き合って自分に負けない（エクセレンス）、思いやりをもつ、挨拶をする、ライバルと切磋琢磨する、コミュニケーション力をつける（フレンドシップ）、家族や先生に感謝する、対戦相手に感謝する、道具の手入れを丁寧にする（リスペクト）等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・3つのバリューはその時だけ考えるのではなく、実際に行動して、継続することが大切だと伝える。繰り返し継続するためには楽しむことが必要だと伝え、1つ目標を達成した後も、新しい夢を見つけて達成のために努力してほしいと伝え、授業終了。



■ 集合写真
2年1組



2年5組





■ 集合写真

2年2組



2年3組





■ 集 合 写 真

2年4組





■ 記念品贈呈

■ 2 年 1 組



■ 2 年 5 組



■ 2 年 2 組



■ 2 年 3 組



■ 2 年 4 組



■ 証明書贈呈

